

【文化財の概要】 <sup>きゅうにしびろけ</sup> 旧西廣家住宅 <sup>じろきち</sup> (治郎吉) <sup>しゅおく</sup> 主屋、缶詰工場、倉庫（北倉）、倉庫（南倉）、煉瓦塀（5件）

銚子を代表する船主の住居および作業場。初代は江戸末期に紀州から移住。2代目治郎吉が漁業を始め、イワシ漁を営みながら鰹節製造や、一時期はイワシ、サンマ、サバの缶詰加工を行った。漁業を始めた2代目の名から、屋号を「治郎吉」という。

主屋は平屋建の「本館」と増築部分の2階建、「総檜」「洋館」からなる。豪壮な本館と、付書院に犬吠埼の風景をあしらうなど細部意匠を凝らす増築部分が対照的である。缶詰工場は2階に事務室や座敷を配する2階建部分と工場部分からなり、工場部分は木造トラスの大空間とする。倉庫（北倉・南倉）は慶応年間建築の伝承を持ち、正側面三方に深く下屋を延ばし開口部の少ない閉鎖的な構成。漁業の歴史を今に伝える特徴的な漁網倉庫である。



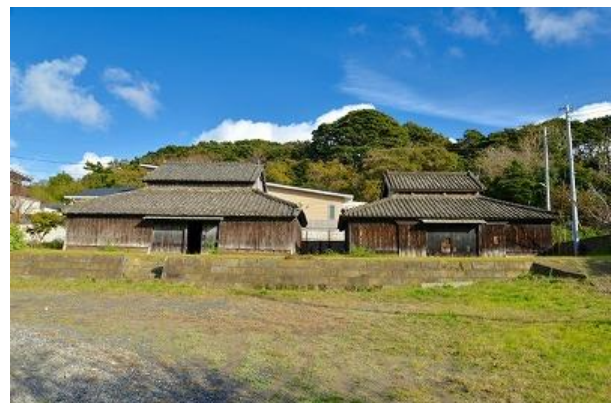
主屋増築部



付書院



缶詰工場



倉庫（北倉・南倉）

写真提供：銚子市教育委員会